

2022年度 実践総合農学会 秋季大会 開催概要

開催日：2022年12月10日（土）

開催方法：オンライン（無料・事前申込不要）URL <https://x.gd/bdEVM>



Zoom↑QRコード

【プログラム】

個別研究発表 10:00～12:00

シンポジウム 13:00～15:35

スマート農業が切り開く未来の日本農業の姿と担い手

現在、農林水産省の事業として全国203地区でスマート農業実証プロジェクトが実施され、農業生産者、農業関連企業、地域行政や普及などから大きな注目と期待を集めています。しかし、スマート農業が普及するためには様々な課題があり、それらの課題を一つ一つ迅速に解決することが求められます。本シンポジウムは、スマート農業の取り組みの実態と課題を研究者、農業者、支援者など様々な主体の取り組みから明らかにして、その普及を加速化することを目的としています。

あいさつ：門間 敏幸 会長 13:00～13:05

江口 文陽 東京農業大学長 13:05～13:10

座長解題：大浦 裕二 13:10～13:15

第1報告 農業経営の展開とスマート農業 13:15～13:45

ーデータ活用による新たな農業の実践ー

梅本 雅（農研機構）

第2報告 スマート農業の実践の効果と課題 13:45～14:15

福田 浩一（日本農業サポート研究所）

第3報告 スマート農業による大規模水田作への挑戦 14:15～14:45

新井 健一（株式会社あらい農産）

第4報告 環境制御施設を活用したトマト生産への挑戦 14:45～15:15

若江 俊英（株式会社いわて若江農園）

休憩 15:15～15:20

質疑討論 15:20～15:35

進行座長：安江 紘幸（農研機構 東北農業研究センター）

休憩 15:35～15:40

高校生によるスマート農業へのチャレンジ 15:40～16:25

ファシリテーター：大久保 研二（東京農業大学）

第1報告 ドジョウとアイガモロボを活用したアクア 15:40～15:55

ポニックス(Aquaponics)水稻栽培法の開発

富山県立中央農業高等学校

第2報告 スマート農業の取組と課題 15:55～16:15

愛媛県立西条農業高等学校

意見交換 16:15～16:25

学会賞贈与 16:25～16:40

講評と閉会挨拶 佐々木 昭博 副会長 16:40～16:45

実践総合農学会 個別研究発表の申込・発表・論文審査・学会誌掲載プロセス

2022年度秋季大会の個別研究発表の申込・発表・論文審査・学会誌掲載プロセスは、次のとおりです。

1. 申込

学会員に限ります。申込フォームに必要事項を記載し、学会事務局に送信してください。非会員の場合は、入会申込と同時に個別研究発表を申し込むことができます。

【期限】11月11日（金）必着

申込フォーム URL <https://onl.sc/mqD89NP>



↑ 申込フォーム QR コード

2. 要旨の提出

個別研究発表要旨（A4サイズ2枚）を裏面の個別研究発表要旨作成要領に従って作成し、学会事務局に提出してください。

【期限】11月25日（金）必着

3. 当日提示資料の準備

当日提示する資料（パワーポイント等）を作成してください。事前の提出は不要です。

4. 通信テストの実施

12月5日（月）～7日（水）に通信テストを行います。時間は追って調整します。

5. 当日通信テストの実施

当日12月10日（土）は、9:00から発表順に通信テストを行います。

6. 発表について

Zoomによるオンライン発表であることに留意して、わかりやすく報告してください。発表時間は15分間、質疑応答は5分間、発表間に交代時間を5分程度設ける予定です。

7. 報告論文の投稿

報告論文の投稿を希望する方は、学会ホームページ掲載の「投稿原稿執筆要領」「投稿規定」に則って論文を執筆し、学会事務局に提出してください。

8. 報告論文の審査

学術委員会による審査を経て受理された論文は、学会誌「食農と環境」に掲載します。

9. 問合せ・連絡先

実践総合農学会事務局 E-mail: spia@nodai-rs.net

TEL: 03-5477-2532（東京農業大学総合研究所内）